

令和4年度 学校教育目標及び経営方針

柏市立柏の葉小学校

学校教育目標
未来を拓く、たくましい児童の育成 ＜確かな学力、豊かな心、健やかな体をもつ子を育む学校＞

学校経営方針
子どもたちの「自主・自律」を柱とした 「笑顔あふれる学校」づくり

《千葉県学校教育指導の指針》

《第2次 柏市教育振興計画》

めざす児童の姿			めざす教師の姿
かんがえる子 (自ら学び、考え、活かす子) ●自ら課題を見つけ、意欲的に取り組むことができる ●自分の考えを持ち、分かりやすく伝えることができる ●仲間と学び合うことができる ●学習の習慣を身につけている 	しんせつな子、わからあう子 (思いやりの心を持ち、正しく判断できる子) ●気持ちの良いあいさつ、進事、言葉遣いができる ●友達のをさを認め合い、仲よく助け合うことができる ●自然や物を大切にできる 	のびる子、はりきる子 (心身ともに健やかな子) ●目標に向かってがんばることができる ●元気にあそぶことができる ●健康で安全な生活をするることができる 	○明朗快活で活力のある教師 ○子どもを理解し、よさを引き出す教師 ○学習指導の専門性を身につけ、学び続ける教師 ○組織の一員として、協働連携する教師 ○高い倫理観を持ち、使命感に満ちた教師  

わかる授業実践	活気のある学校	協働 チームワーク	連携
●「柏市GIGAスクールにむけて」に基づいてICT教育を推進し、学びを充実させる。 ●道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うため、心に響くような道徳授業を実践する。 ●外国語科や外国語活動を通じて、国際的な視野を広げるとともに、コミュニケーション能力を育成する。 ●学校図書館やICTを活用し、情報を収集・編集して表現する実践力の育成に努める。 ●学習内容を実生活と関連付けて実感の伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を養うことを重視する。 ●体験活動や言語活動を通して課題を解決するために必要な活用力を育む。自ら課題を見つけ探求し、見通しを持って他者と関わり合いながらまとめ、発表する力の育成に努める。(思考力・判断力・表現力を育成する授業実践) ●学校教育活動全体を通して、運動に親しませる体育的活動を実施する。	●児童が人との絆を大切にし、感動を持てるような学校行事の実践を行う。 ●明るく元気なあいさつ、返事ができるようにする。 ●教育相談等の活用により、問題や不応を乗り越え、一人ひとりが喜びを持てるような学級をつくる。 ●学校図書館、ワークスペース、スクールプラザ、多目的ホール、芝生などの施設を活かした学習活動を実施する。 ●異学年の活動場面を多く取り入れ、全校の交流を盛んにする。 ●児童会の主体的な活動を推進する。 ●学級の子どもの交流を深めるため、互いの良さを認め合う場を多く設定する。 ●読書活動の充実を図る。	●子どもに接する時間や教材研究の時間を確保するために、学校行事の見直しや会議や打ち合わせ等を精選し、働き方改革に積極的に取り組む。 ●積極的な教職員研修により指導力の向上を図る。 ●「真摯な態度」を尊重し、明るく深い教職員をめざす。 ●「記録・報告・連絡・相談」を徹底する。 ●個人が強みを発揮できるような協働体制を構築する。 ●相談し合える職員関係を築き、「チーム柏の葉」で課題解決にあたる。	●「共有」の視点を持ち、保護者とのかわりを大切にす。 ●小中連携教育を推進し、義務教育9年間の教育課程を策定する。 ●学校経営を支える学校運営協議会を通じて、地域住民が協力者として教育に参画できる仕組みと環境をつくる。 ●近隣の幼稚園・保育園や高等学校と相互授業参観や交流会を実施し、児童・教職員の連携を図る。 ●外部評価を尊重し、マネジメントサイクルの中心に位置づける。 ●特別な支援を要する児童への理解を促す。 ●青少年相談員の活動拠点として小中学校が連携し、地域とともに取り組める行事を立ち上げる。

児童に考えさせて、判断させて、行動させる指導 → 自分で考えて、判断して、行動できる児童の育成
＜ 自主・自律 ＞

学校経営の重点
◎安全・安心な学校 → 学びの充実 新型コロナウイルス感染症拡大防止を念頭に置いた教育活動の展開
1 児童に考えさせる生徒指導 ○傾聴し、児童に返して説諭し、納得させる生徒指導 ○答えを与えるのではなく、自らの言動や行動を振り返り、自ら答えを導き出させる生徒指導
2 児童に考えさせる学習指導 ○課題把握から自力解決をする過程を重視し、グループワーク等の学び合いを積極的に導入した学習指導 ○思考力・判断力・表現力育成につながる、学びの場を工夫した学習指導
3 学校運営協議会の組織づくり ○「地域とともに教育を創造する学校」づくりの推進 ○学校運営協議会を軸とした、地域団体（ふるさと協議会、青少年健全育成推進協議会、青少年相談員等）との関係構築 ○学校地域支援本部設立に向けた取り組み
4 幼保小中高連携教育の推進 ○一休型校舎を生かした柏の葉中学校との連携教育の推進（9年間の学びを念頭に置いた教育活動） ○柏の葉こども園、県立柏の葉高等学校も含めた、幼児、児童、生徒間の交流や教職員間の交流の機会を意図的に設定
5 教職員研修の日常化 ○OGIGAスクール構想実現に向けた取り組み ○外国語教育の推進（千葉県英語指導法研究大会・千葉県外国語教育推進計画 R3～R7） ○新学習指導要領の完全実施に伴う各教科・領域における学習指導の充実と年間指導計画の見直し ○若年層教員研修（柏の芽研修）の充実
6 積極的な業務改善の推進（すべては子ども達のために） ○「あたりまえをあたりまえと思わない」視点で教育活動全般を精選、改善 ○計画的な学校経営・学年経営・学級経営 ○教材研究・児童理解に取り組む時間の確保